立川市第3次環境基本計画策定に向けた事業者ヒアリング

1. 調査概要

本市では、良好な「たちかわの環境」づくりはもとより、さらにこれを次世代に引き継ぐことを柱に置き、身近な環境問題から地球規模で発生している問題までを課題とし、市民、事業者、行政が連携・協働する実効性のある計画とすることを目的として、令和7(2025)年度から令和16(2034)年度を計画期間とする第3次環境基本計画(以下「本計画」という。)の策定に取り組んでいます。本計画の策定にあたり、事業者の環境活動や市と連携・協力できる分野・取組、事業者からのご意見・ご要望などを市が把握し参考とします。

2. 調査日

令和6(2024)年10月1日～10月3日

3. 対象事業者

令和5(2023)年度実施した環境についてのアンケートで、ご協力いただけると回答を頂いた事業者の中から、業種や回答内容、意向等を踏まえて4社とします。

4. 事業者からの主な意見の概要

A社：製造業

環境活動について	<ul style="list-style-type: none">・食品ロス削減に向け、食べ残しを減らすため、メニューを工夫している。・社会福祉協議会や法人会と連携し、フードバンクに協力している。・ボイラーの運転台数を増減させるなどの対応で省エネをできるように工夫している。・省エネ診断を受診し、改善を行った。
市との連携について	<ul style="list-style-type: none">・市のホームページでの環境に関する取組紹介や学習機会の提供について協力できることはある。
他の事業者との連携について	<ul style="list-style-type: none">・地元の農協での購入など地産地消に取り組んでいる。
その他	<ul style="list-style-type: none">・商工会や地域のロータリークラブなどの活動にボランティアとして参加している。・電気、ガス代、食材等価格が高騰しているが、少額の値上げがやっとなであり、設備導入による省エネの推進が難しい。

B 社（電気、ガス、熱供給業）

環境活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・合成メタンの実用化を進め、CO₂の排出量が実質的に増えない都市ガスの供給を目指している。現状ではコスト面が課題。 ・社内での環境教育は、全社員を対象に e-ラーニング形式で実施している。
市との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・環境イベントへの出展や小学校への出前授業などの啓発活動を行っている。 ・特に立川市においては市内事業者であるので小学校児童の弊社施設見学にも活用いただいている。（ガスホルダー見学） ・気候変動市民会議や事業者団体（経団連・商工会）での環境関連のプレゼンを行うなどいろいろな形で環境啓発に向けた取組をしている。 ・自社施設の見学会を学校教育の一環として行っているが、一般市民向けの実施は考えていない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国のエネルギー計画改定時期でもあり、基準年度、削減目標が変わることが想定されるので、市の環境基本計画に反映できることをご提言したい。 ・蓄電池などを活用したディマンド・レスポンスの考え方も取り入れてみてはどうでしょうか。

C 社（建設業）

環境活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・ZEH は、費用がかなり上乗せになるので、建築実績は少ない。断熱性能の良いものを使用し、断熱性能等級 4～5 の建物を作っている。 ・断熱性能を数値で見せてもわかりにくいので、断熱性能の良い建物を実際見てもらい体感することで、効果を実感してもらっている。 ・自社でお祭を行い、余った資材等を格安で販売し、売上を盲導犬協会へ寄付している。この活動を通じて地域貢献にもなっており、社員教育にもつながっている。
市との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・今までは市のイベントに参加していないが、今後は予定が合えば断熱性能やZEHなどの話をするなど協力は可能である。 ・中学生の職場体験で家のミニチュアを作成していたが、スタッフ不足で現在は行っていない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルや蓄電池の設置意向は高くなってきているが、戸建て建設に費用がかかり、追加での設備導入はされないケースが多い。 ・東京都の補助金などの申請の簡素化、振込までの時間がかかることの改善を検討してほしい。 ・人手不足が深刻であり、どうすれば建築業界に人が来てくれるかが課題である。

D社（サービス業（他に分類されないもの））

<p>環境活動について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業等に、東京都の地球温暖化対策報告制度の報告書の作成支援を行っている。提出企業数は増えている。 ・皆様から提供をいただいた食料品を、社会福祉協議会の協力のもとフードバンク立川へ寄付している。 ・エコキャップ回収運動を 20 年近く前から実施し、集めたエコキャップの収益を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付している。
<p>市との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他市を含め、今まで意見交換の機会はなかった。市の事業については、市のホームページから情報を入手している。今後は、今回のような場を通して、情報交換をぜひ行っていきたい。 ・環境フェアなどの周知については、自社のホームページに掲載することは可能である。また、広報誌を2ヶ月に1回発行し、管内の8000社に送付しているので、広報誌への掲載も可能である。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業は利益追求が第一であり、BCP（事業継続計画）などもなかなか手がかからない状況である。防災、減災の観点などからも啓発の必要があり、市とも協力していければと思う。